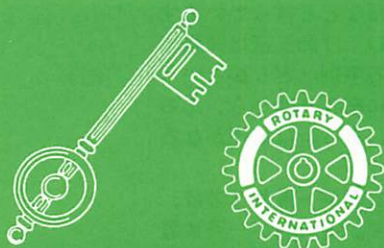


# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 千464 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 菊池昭元

No. 39 (1985~86)

あなたが 鍵です  
You are the Key

1985~86年度  
RI会長 エドワード F. カドマン

第184回例会 昭和61年4月8日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 57名 出席 29名

出席率 50.88%

前回 4月1日 (修正出席率) 94.64%

◇ ビジター紹介

東RC余語特別代表 他11名

◇ お誕生日祝福

真下君(4/8)、小林君(4/13)、菊池夫人(4/21)

◇ ニコボックス

東RC余語栄三特別代表 長らく御無沙汰しておりました。お蔭様で、体調もよくなりました。

大須RC山田昇平バスト尾張第一分区代理 久しぶりに来訪させて頂きました。スピーカ-の林君とは同級生ですので宜しく。

松居 敬二君 ホームクラブ御無沙汰しました。

橋本 義郎君 長らく御無沙汰しました。今後共、宜しく願ひ致します。結婚記念日祝い。

原 富士雄君 子供が中・高・大学と三人とも無事入学致しました。

小坂井 盛雄君 長らく病欠させて頂きました。未だ精密検査継続中ですが、大体良くなりましたので、本日より出席させて頂きます。有り難うご座居ました。尚、本日は早退させて頂きますので宜しく。結婚記念日祝い。

武内 清君 本日、スピーカーをご紹介させて頂きます。

真下 勝利君、小林 明君 お誕生日祝い。

菊池 昭元君 夫人お誕生日祝い。

和田 正敏君 結婚記念日祝い。

◇ 青山副幹事報告

1. 本例会終了後、臨時総会を開催致しま

すので、全会員の方はお残り下さい。

2. 第261地区宇奈月RC(6/8)より、認証状伝達式の御案内が来て居ります。参加希望の方は、事務局までお申し出下さい。

3. 次週例会はF.S.M.で、18:00より松風閣にて開催致します。昼間の例会はございません。

4. ロータリーの友4月号が来て居ります。お帰りにお持ち下さい。

◇ 菊池会長挨拶

6日の日曜日は桜花も満開で、春うらゝとのどかな絶好の花見日和となり、皆さんも家族揃って楽しい一日を過ごされた事と思います。ところが、昨7日の寒冷前線のイタズラで小雪が降り桜も驚いたでしょうが、人様も驚きました。過去に於いて、この日に雪が降ったのは昭和6年で55年振り、東海地方の最も遅い雪は明治35年4月11日で、観測史上2番目と言う事です。さて、10年一昔と申しますが、あの第一次石油ショックで泣かされて以来13年。最近では石油がだぶつき、更に円高と言う事態も加わり、当時では予想も出来なかった値下りを見るに至りました。明治初期の一般家庭の明りは「石油ランプ」が主流で、30年代になっても「ガス灯」が普通でした。我が国で初めて電灯が燈されたのは明治11年3月25日、東京虎ノ門工部大学校(東大工学部前身)で開かれた電信中央局の開局祝賀会場で、イギリス人「エアートン」の指導する2人の日本人学生によって50ケの「アーク灯」がつけられた時です。因みにこの時のアーク灯は、フランス製であった様です。まさに明治時代は明りの技術革新時代と言えましょう。それから109年目の今日は25%が原子力発電によるものです。之とて二度のオイルショックが原子力発電の推進を加速させたわけで、

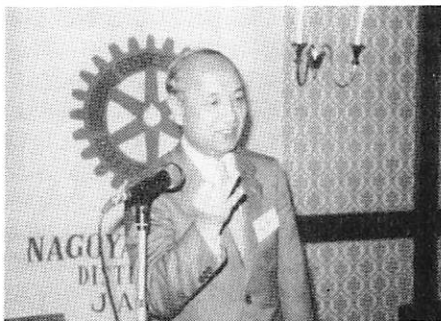
誠に科学技術の進歩は驚きの一語に尽きます。そして、明治20年には我が国最初の電力会社「東京電灯」が設立されました。今や日常生活には一時も欠かせない電気ですが、資源の枯渇や外貨不足で、買うにも買えない事態が来ないという補償は何もありません。常に「何時何ときの心構え」こそ肝要と思います。話は変わりますが、明治の人生50年と今日の人生80年とでは、「年代意識」に大きな開きがあります。昔は20才と言えば立派な大人で、社会もその様に遇し、明治維新で活躍したのは20代から30代の若者でありました。ところが今日の傾向は大学の入学式に親が同伴する若者も多いと言われます。精神医学者の笠原嘉さんは、「不安の心理」と言う本の中で、人生80年代の年代意識を人生50年代と対比する換算表を紹介しています。今日の男子の平均年齢は75才、昔の50才との比は3:2であります。即ち自分の年齢に3分の2を掛ければよいと言う事になります。現在60才の人は昔の40才、20才なら昔の13才に相当し、今の中学生程度となると言うのです。従って60才では老人どころか、パリパリの壮年であります。この様に皆様も自分の年に3分の2を掛けて大いに若返えって頂き、より一層楽しい毎日をお過ごし頂きます様願って御挨拶とします。

◇ 講演

“尾張の殿様”

愛知学院大学教授

林 董一 先生(紹介 武内君)



江戸時代に徳川將軍に仕える家臣には大名、旗本、御家人の3つがありました。

尾張、紀州、水戸の御三家は、その大名の1つです。大名と旗本との違いは禄高(給料)の違いで、一万石以上が大名です。又、旗本と御家人との違いは將軍に御目見出来るか、どうかの違いです。御目見得とは、將軍の方に向かって御辞儀が出来るということです。旗本は出来るが、御家人は出来ない。では、御目見得以下はどうするかというと、將軍の方に背を向けて御辞儀をします。よくテレビドラ

マなどでは、この点が間違っています。世間では、尾張は御三家筆頭などと言っていますが、これは誤りで、正しくは御三家は同格です。では、江戸城の座る序列はどうかというと、それは家督相続順に座りますから、ある時は上席に尾張が、又、ある時は紀州になるという具合です。

この御三家に力のある事が一番判るのは、江戸城へ登城する時です。各大名が一斉に登城するのは1日と15日ですが、その時、御三家だけは「したにー」、「したにー」というげざぶれという声をかけることが出来ました。よく大名は誰でも「したにー」、「したにー」と声をかけることが出来るように誤解されていますが、これが出来るのは將軍と御三家に限られています。この声がかかると、大名であれ庶民であれ、手を地について御辞儀をしなければなりません。これに対する御三家の答礼は、相手が大名の時は駕籠の戸を少し開けて片足を一寸出すー降りるというゼスチャーを示すー、旗本などに対して片手を出す、それでおしまいです。従がって各大名は何か御三家にぶつからないように、登城の時は要所要所に見張りを立てて注意していました。江戸城に登城しますと、お城に刀を持ちこめるのは御三家に限られています。一般の大名は玄関まで、あとは家来が殿様の帰ってくるまで、刀を玄関で預って待っていました。従がって忠臣蔵の浅野内匠頭が松の廊下で吉良上野介を切りつけたのは、刀ではなくて脇差しです。

さて、江戸城の詰所におりますと、御三家だけには、將軍からプレゼントがあります。2月1日の登城日にはくず湯一杯、6月1日の登城日には氷を一盆貰います。この氷は加賀の前田家から將軍への献上物の御裾分けです。

御三家はどうしてこんなに権力があつたかといえますと、一つは、將軍に最も近い親戚であるため格式を認められた。二つ目は、御三家は力があるので、反乱を起こされないよう懐柔した。三つ目は、御三家に高い格式を認めると、それを家来にする將軍は更に高い権威と格式を持つことになるという訳です。

(文責 武内)

◇次回例会(4月15日)

F.S.M.の為、講演はごさいません。  
松楓閣にて18:00より

◇次々回例会(4月22日)

講演 “私の職業について”  
会員 魚津 常義君